

## ねんりんピック紀の国わかやま2019

全国の60歳以上の男女約1万人が、スポーツや文化で交流を深める「第32回全国健康福祉祭和歌山大会」が11月9日から3日間開催され、和歌山県内21市町村の会場で前回大会と同様史上最多の27種目が一斉に実施されました。

将棋交流大会は高野町、高野大学・高野山大師協会・高野山観光情報センターで、64チーム190名が参加して開催されました。

審判長には神崎健二八段、副審判長には宮本宏志五段、大橋貴洸五段、村田智穂女流二段の合計4名のプロ棋士が来場、指導対局等にあたりました。

恒例の特別表彰の最高齢者賞は、熊本県から参加された井崎圭支さん91歳が受賞、高齢者賞には新潟市から参加された小出昭吾さん90歳ら3名でした。

さて名古屋市チーム（谷畑安彦さん・近藤哲生さん・谷口稔さん）の成績は、団体予選リーグを2勝1敗（北九州市に敗れる）で予選落ちを喫しました。

翌日は気持ちを切り替え3人とも個人戦トーナメントに臨みました。谷畑さんは貫禄の4連勝で金メダルを獲得、谷口さんは3回戦に進み銀メダルを逃がずも銅メダルをゲット、近藤さんは2回戦で苦敗しました。

団体戦・優勝は兵庫県、準優勝は北九州市、3位は福井県と滋賀県でした。

（参考） 近隣3県の成績

愛知県：団体戦予選落ち、個人戦で土屋さんが金メダル、他の2人は敗退

岐阜県：団体戦予選落ち、個人戦では3人とも1・2回戦で敗退

三重県：団体戦予選落ち、個人戦では3人とも1・2回戦で敗退

名古屋市付添役員 山中利夫

<宿泊先の総持院の豪華なソファで><団体戦予選開始直前の選手の表情>

